

現 認 書
事 実 証 明 書

被災職員の職・氏名	技師(調理) 基金 花子
災害発生の日時	元号表記 令和2年 4月21日(木) 午前 9時30分頃 午後
災害発生の場所	〇〇市〇〇町〇丁目〇番地 徳島県立〇〇学校給食調理室
災害発生の状況等	被災当日、私と被災職員 基金花子さんは、午前8時30頃から〇〇学校給食調理室で給食調理作業を行っていました。午前9時30分頃、私が食器の整理をしていた時、野菜裁断機でキャベツの裁断をしていた基金花子さんの悲鳴が聞こえたのでかけよると、基金花子さんがうずくまって、左手で右手を押さえ「痛い、痛い」と言っていました。 見ると右手人差し指から出血しており、傷も深く、出血も多いので、急いで保健室に連れて行きました。
上記のとおり相違ありません。 元号表記 令和2年 4月22日 所 属 徳島県立〇〇学校 職・氏名 技師(調理) 徳島 花子	

〔注意事項〕

- 1 現認書は、災害の目撃者が目撃したままの状況を目撃者の立場から記入すること。
- 2 災害の目撃者がいない場合は、災害発生状況報告を最初に受けた者が「事実証明書」として作成すること。

この場合も、証明者が聴取したままを証明者の立場から記入すること。